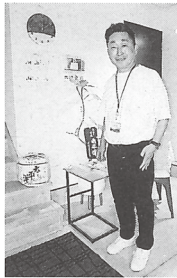


### 「木の酒事業へキックオフ 世界へ紀南の酒アピール」

村上木材

村上木材(大阪市、佐原謙次社長)は、3月26日付で和歌山県新宮市の酒蔵、尾崎酒造の株式を取得し、完全子会社化した(8月29日付既報)。森林総研が開発した「木の酒」の特許使用承諾書を交



家賃シールド「オフィスM's」でも尾崎酒造をアピール

わし、木の酒づくりに向けた森林総研での研修にも取り組み、まずは尾崎酒造を村上木材の考え方を浸透させることから着手した。佐原社長は「尾崎酒造は、

創業140年の老舗。紀南地域で長くにわたって愛されてきた。熊野三山と密接につながり、良質な水と米から作られた酒を紀南地域だけではなく、日本へ、世界に向けて発信していきたい」と話す。

熊野速玉大社にも近く、熊野本宮などを訪れる外国人観光客らが増えるルートにも近く立地していることもあり、土地を買い足しショップや酒蔵を見てもらえるようリノベーションも計画している。

木の酒づくりという夢を実現するため、今は毎週ウェブ会議を行い、月に1週間から10日は新宮に行き会社の方針を現場に落とし込

んでいく作業に入っている。和歌山県内の日本酒のイベントで、佐原社長が尾崎酒造の「太平洋」を熱心にPRする姿も見られるという。

尾崎酒造の日本酒は食中酒として、辛口でしっかりした味わいというが、「ワインのように単独で味わっても楽しめるフルーティーな大吟醸を強化していきたい」(佐原社長)。

村上木材のホームページからも購入できるようにし、取引先の祝いなどでも使ってもらえるよう木材営業でも積極的な販売を始めていく。

大阪国税局の清酒鑑評会の燗酒用部門で優秀賞も受賞した。